

平成16年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報会議 東北海区海況予報

平成16年8月6日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2004年9～11月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏(35°N～36°N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で南寄りに推移する。
- (3)釧路東南東沖合、三陸沖、金華山南東沖の暖水塊はいずれも持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並～やや南偏(39°30'N以北)で推移し、金華山沖～常磐近海に冷水域が残る。
- (5)親潮第2分枝の張り出しは、平年並～やや北偏(40°N以北)で推移する。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並～やや強勢(143°10'E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2004年1月～2004年6月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏～やや南偏で推移した。
- (2)釧路の南東沖合、および金華山南東沖で暖水塊が停滞しており、5月以降には三陸沖合に暖水塊が認められた。
- (3)親潮第1分枝の南限は、2月まではやや南偏(40°N～38°N)であり、3月にやや北偏(41°N)、4、5月は平年並～やや南偏(39°N～38°N)し、6月になるとかなり南偏(36°30'N)した。
- (4)親潮第2分枝の南限は、5月まで平年並～やや北偏(40°N～39°N)で推移し、6月にかなり南偏(38°N)した。
- (5)表面水温は、東北海区で平年より低めで推移した。

(現況(2004年7月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏している。
- (2)暖水塊が、釧路の東南東沖合約200km*、三陸沖約330km、および金華山南東沖約270kmにある。
- (3)冷水域が、金華山沖～常磐近海に複数ある。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並(39°20'N)である。
- (5)親潮第2分枝の張り出しは、やや北偏(40°10'N)である。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並～やや強勢(143°E)である。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以東を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による